

鬼出身の阿修羅はなぜ
仏像にまでなったのか・・・

阿修羅

スタジオ踊劇舎最終公演

◎公演日時 令和4年 4月16日(土)
PM6:00～

令和4年 4月17日(日)
AM11:30～/PM3:15～
◆開場はいずれも30分前より

◎公演場所 いかるがホール(大ホール)

◎チケット 前売り 3,300円
(当日券は800円UP)

◎お問合せ スタジオ踊劇舎
TEL 0745-31-1100
e-mail: info@yogekisha.com

Asyura
アシュラ

あらすじ
物語は安倍晴明の時代より400年前、人間界で無敵になった阿修羅が、自分の事を怖がらない人間の雪子と出会い、天界に登った所からはじまります。天界に登った阿修羅は、天界の神 帝釈天に勝つ事ができず、400年間戦い続けています。呆れ果てた帝釈天は、もう一度人間界にもどって陰陽道のエキスパート、安倍晴明を倒してこいと命じます。さて阿修羅は帝釈天の命じるように晴明を倒すことができるのでしょか・・・?

ごあいさつ

新型コロナウイルスの影響により2年間公演を延期しておりましたが、2022年『阿修羅』を開演いたします。皆様に長きにわたりお引き立ていただきました踊劇舎公演はこの公演を最後に幕を閉じる事になりました。皆様是非ご覧いただきたくご案内させていただきます。

今回は鬼類で仏像になった阿修羅が主人公の痛快冒険ファンタジーです。子供の頃「阿修羅」は鬼神と聞いていました。遠足で奈良の興福寺の阿修羅像をみた時は衝撃でした。顔は三面で成り、それぞれの顔は「戦」「苦」「穏」を表情に現しています。「なぜ鬼がこんな穏やかな顔を持っているのだろう?そして神になって、仏像となり、拝まれるようになったのだろう?」不思議に思った事を私の中で物語にしてみました。大好きなキャラクターです。『テーマは本当の強さとは?』を取り上げました。強い人とは一体どんな人なのでしょう。その問いかけをテーマに作品を書き下ろしました。この作品は踊劇舎で一番笑いの多い作品になっています。皆さま恐縮ではございますが、是非周りの方にもお声掛け頂き、ご来場下さいますようお願い申し上げます。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況や政府の方針等に伴い、予定が大きく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

キャスト — cast —



阿修羅 伊藤 佳子 雪子 濱本 真澄 安倍晴明 伊藤 恵子 帝釈天 埜田 祐理子 奇芽羅 長尾 奈美

雪女 阿修羅手下 晴明手下 座敷童 神一族元氣 神一族気品



辻 千雅 中谷 美紀 小島 約伽 塚本 百香 本鍋田 かなえ

雪女 阿修羅手下 晴明手下
座敷童 神一族元氣 神一族気品



土地神・鉄刀奇
今津 幸一



埜田 祐理子・伊藤 恵子・長尾 奈美・濱本 真澄
高谷 奈未・吉兼 柚衣・橋 くに・徳永 怜奈
足立 笑子・山本 柚季・江口 理子・大原 いら香
貴田 莉紗子・安藤 帆乃果・カール 愛梨・芝川 葉里

スタッフ — staff —

伊藤 佳子 プロフィール

YOSHIKO
ITOU
PROFILE

大阪体育大学体育学部体育科モダンダンス専攻卒業後、単身ニューヨークにダンス留学し、バレエ・ジャズ・ヒップホップを学び体育大学での運動生理学・運動力学・整体学などの理論の習得のみならず、実際のダンスエクササイズも合わせて習得する。

帰国後は生涯教育活動の一環として多くの人に、(楽しく人生を送るために、心と身体のための正しい運動)を普及させるべく大阪、奈良、兵庫 四国等特別講師として指導するかわら、スタジオ踊劇舎を主宰設立。これまでの様々な経験を活かすことで、身体が痛まず、そして礼儀と感謝の気持ちを忘れない基本ができる生徒が育つスタジオとして各方面に生徒を送り出している。また自らは脚本、演出、振付け指導をして毎年公演活動を行い、お芝居と踊りのコラボレーションされた公演形態で独自の世界を創り、好評を得ている。

作・構成・演出 伊藤 佳子
振付 伊藤 佳子・長尾 奈美・埜田 祐理子
補佐 伊藤 恵子・濱本 真澄
舞台監督 西 恵美子 (南感動制作所)
照明 石谷 幸代・松本 賢司 (劇LAVS)
音効 久保 秀夫 (劇蔵音工房)
音響 三宅 住絵 (劇カンパニー)
美術 福島 佳樹 (テクニカルクルー)
装置 西 恵美子 (南感動制作所)
ビデオ (有)アート・ファクトリー
写真 ロム企画
宇都宮 寿輝

衣装 後藤 美恵子 (絵夢企画)
メイク 埜田 祐理子 (スタジオ踊劇舎)
長尾 奈美 (スタジオ踊劇舎)
神本 マキ (L*seclat-レクラ)
宣伝美術 宮浦 真希 (ロイ・マーケティングデザイン(株))
協力 樟蔭ダンスクラブ 青木 郁美
社会福祉法人風雛会
身体障害者療護施設どんぐり
銭司聖天 光明山聖法院
踊劇舎保護者の会
制作 スタジオ踊劇舎